

ねりいた

練板ベー通信

2017年9月12日 vol.175

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



Eメール nobumasa-takeda@jcom.home.ne.jp

ヒデさんシュガーさん初! 初!

人の禰で相撲を取ったらどうなるんだろう。そんな思い付きから始まった第1回借り物大王戦が、残暑厳しい板橋平和公園で9月10日(日)開催され、グレートヒデが念願の初優勝を飾った。借りたのはシュガーベー。これがヒデさんに見事にはまり、決勝で粘るジョージを3対2で振り切った。

ヒデさん、勝っても負けても初タイトル

ついでに時というのはこんなものか。この日のヒデさんのことだ。借り物大王戦では、優勝ベーの作者に加工王が贈られる。これもタイトルとなりグラチャンの権利が与えられる。受付でリキなしベーが見つかり抽選になるとヒデさんが当選、加工王の目が倍になる。ヒデベーを使うのはジョージとハルク。この二人がベスト8で激突、ここでジョージが勝ち上がり、さらに岩坊ベーのほん魂六角をも破り、ヒデベーのジョージが決勝進出となる。

ヒデさんは対戦でも勝ちまくる。タイキローベーの奥田パパ、あっきベーのシュガー、奥田ベーのギャオじいを次々に退け、決勝進出を決める。この時点でヒデさんは優勝してもしなくても初タイトルが確定してしまったのだ。何ということだろう。前にも言ったが、正に事実は小説よりも奇なりであります。

ジョージ、ツッケン決まらず墓穴掘る

ヒデベーは究極の守りベーだ。安定しているが動きは早くない。普段早いベーを回すジョージがこれをどう活かすか。注目の決勝戦だが、まずヒデさんの床外しで始まる。オレにもツキがあるとジョージが思ったかどうかは分からないが、却ってこれで落ち着いたヒデさんに1本取られる。これが決勝戦だ。気合を入れ直すジョージ、集中してリキを入れるとこれが決まり2本先取、リーチだ。しばらく遠ざかっていた優勝の2文字が頭をかすめる。こうなればツッケンで早々と決着だ。そう思ったかどうかはわからない。が、これが裏目に出るジョージ。ツッケンをかわされたベーの軌道は安定しな



グレートヒデ、ちかはる、シュガー おめでとう!



い。敢え無く2本取られ勝負あり。惜しかったジョージ、2年ぶりのタイトル奪取とはならなかった。

見守るシュガー願いが叶い加工王

決勝が始まると特等席に陣取るシュガーさん、自分の加工したペーの行方はどうなるのか。気になるところだ。実はトーナメントのベスト8でシュガーペーのヒデさんと当たったとき、不思議な感覚があったのだ。負けても悔しくない、やっぱりオレのペーはいいと、思わずつぶやいてしまったのだ。こうなればヒデさん応援だ。床外したときには肝を冷やしたが、勝つ度に小さくガッツポーズ、優勝した途端思わず立ち上がりハイタッチだ。こうなればシュガーさん、2017は残り後半一気にパロンドールだ。

子ども王はオープンVのちかはる

今期練板オープンを制したちかはるが、マッチペーでゆうひペーのあつきーを倒し、子ども王をさらった。初の兄弟対決、ちかパパが見守る中、弟に1本取られたが、兄貴の貫禄を見せられてホッとしたことだろう。

名人戦は最終場所を前に大混戦

ギャオじい先場所の10位からいきなりトップに躍進したが、2位マックスとの差は僅か1ポイント、さらに3位以下も1点差が続き7位までが4ポイント差しかない。来月の最終場所でトップの座を射止めるのは誰か――。

パロンドールは2位以下が追い上げ

トップのマックスがベスト16で敗退、2位ほん魂六角がベスト4で3ポイント獲得、さらにシュガーがベスト8+加工王で7ポイント追加したため、その差が詰まってきた。どうやらこの3人に絞られそうだが、残り4タイトル、競馬で言えば第4コーナーを回った辺りか。逃げか差しか分からなくなってきた。



ガチホンは小出っち

午前の仕事なが引き、大会に参加できなかった小出っちが、ガチホンだけやりに来た。それでマッチ、イッサ、マックスを倒し、ツキまくるヒデさんもねじ伏せてしまうのだから恐れ入る。これで小出っちは2度目の全部取り。

